

福島市働く女性応援認証企業 ファイル (Vol. 8)

本市では、男女共に働きやすい職場環境づくりなどを積極的に行う中小企業を認証しています。このコーナーでは、認証企業にスポットをあて、その取り組みをご紹介します。



フェアリア社会保険労務士法人



▲ホームページはこちら

子育て世代の女性の働きやすさを追求

フェアリア社会保険労務士法人では、県内の中小企業を中心に、人事労務支援を通じて人を大切にすることを社作りの支援と、全国のお客様を対象に障害年金手続きの支援を行っています。

一緒に働く社員は全員が子育て世代の女性で、働きやすさの実現は自社から！として取り組みを行い、フレックスタイム制や部分的な在宅ワークも活用しています。健康経営も意識した福利厚生制度の導入で、仕事と生活の長期的な両立を支援しています。



▲菅野代表社員と社員の皆さん

【会社概要】

所在地：福島市南町
 代表者：代表社員 かんの しゅんた 菅野 峻太
 社員数：4人
 採用実績：令和4年度1人
 (うち女性1人)
 主要事業：人事労務支援
 障害年金請求支援
 連絡先：☎050-5364-4073

■問／産業雇用政策課
 ☎515-7746

クローズアップ

女性社員に聞きました！

👉 我が社のここが働きやすい！

フレックスタイム制や在宅ワークによって、子育て中でも働きやすい環境です。業務では、効率化への改善が常に行われ、時間外業務はほとんどありません。また、月1回のランチ会は、職員同士の交流の場になっています。



入社2年目
ひでやまさおり
 白出山沙織さん

👉 やりがいがあります！

働きやすさだけでなく、業務を通じて、お客様から喜んでいただける仕事に、やりがいと魅力を感じています。

We Love ♡
 ふくしま！

第65回 「野鳥の楽園」

小鳥の森が開園40周年を迎えました。小鳥の森は、野鳥など多様な生物が生息する自然豊かな森。ボランティアや地元関係者などに支えられ、市民の憩いの場、子どもたちの環境学習の場として親しまれてきました。

市街地のすぐ近くなので、小鳥が街にやってきて、心を和ませてくれることもあります。福島市ならではのですね。

小鳥の森は、自治体設立のサンクチュアリ(野鳥など生物多様性を保全する自然施設)として全国第一号の先導的な施設です。昭和天皇やお若い頃の天皇陛下も訪れました。

今後、誇りをもって、小鳥の森を守り育てていきたいと思っています。

一方、市街地では、カラスやムクドリがすみつき、大きな被害が生じています。一昨年来、専門家の指導のもと、被害防止対策を実施してきました。ムクドリには一定の効果が見られましたが、カラスには難しく、昨冬はカラスの大群によるふん害が街なかの大きな問題となりました。

調べてみると、冬場の大量のミヤマガラスという大陸からの渡り鳥で、11月から3月にかけて飛来すること。環境変化で、西日本だけでなく東日本にも飛来するようになったようです。大群を形成する習性があり、市街地をめぐらします。

福島市長
 木幡 浩



▲ボックス型ごみネットのイメージ

他方、生ごみ荒らしをするのは、在来種のカラス。餌に恵まれ、こちらも増えているようです。

カラスが飛来する冬場を前に、商店街や大学、企業、国、県などと連携して、対策を強化します。樹木の伐採や歩道の清掃などのほか、「だまくらカラス」という装置でカラスを不安にさせる音を出して、追い払います。カラスの鳴き声のような音に驚かないようご注意ください。

在来種対策としては、被害のひどいごみ集積所にボックス型ごみネットを配置し、効果を検証します。

「カラスの楽園」とならないよう、市民の皆さんのご協力をいただきながら、餌を減らし、街をきれいにしていきたいと思っております。童謡「七つの子」のごとく、のどかな気持ちでカラスを眺められるよう、カラスとの共生を図っていききたいものです。



防災と災害情報メールマガジンをご利用ください

災害情報などをお知らせするメール配信サービスを行っています。メールアドレスを登録すると、情報を受け取ることができます。

●問／危機管理室 ☎525-3793

